Operation Guide TQ-580J

CASIO

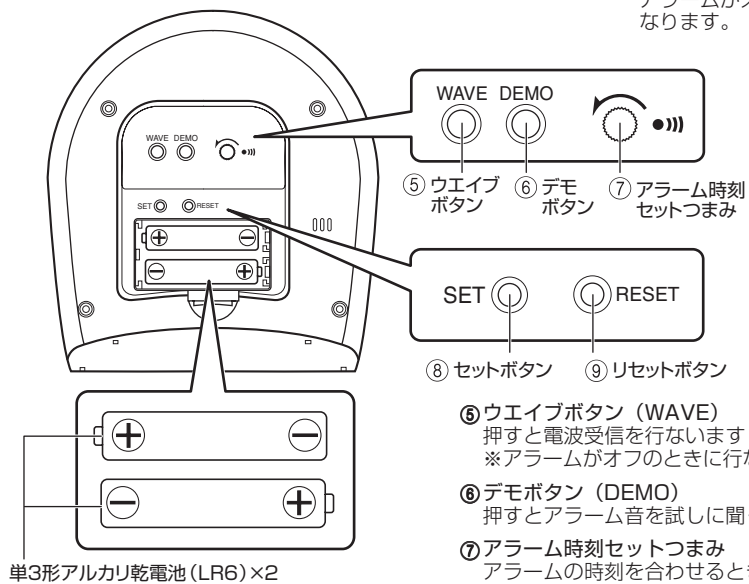
各部の名称

※ 機種により形状等が異なることがあります。

①スヌーズ／ライトボタン（SNOOZE／LIGHT）
押すと約５秒間ライトが点灯します。
※アラーム報音中に押すと音が止まります。
※押すと電波の受信状態がわかります（③受信ランプ参照）。
※アラームがオフのときに受信状態の確認ができます。

②アラームスイッチ
アラームのスヌーズ／オフの切り替えができます。

③受信ランプ
電波の受信状態や受信結果をお知らせします（インジケーター機能付き）。
緑色の点滅…受信しやすい、または受信成功
赤色の点滅…受信しにくい、または受信失敗

④アラーム ON インジケーター
アラームがスヌーズのとき、赤くなります。

⑤ウエイブボタン（WAVE）
押すと電波受信を行ないます（手動受信）。
※アラームがオフのときに行なえます。

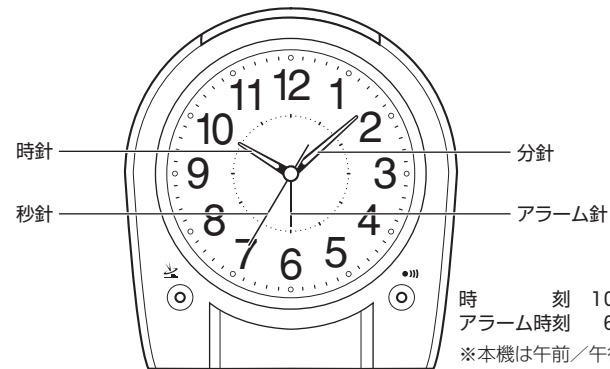
⑥デモボタン（DEMO）
押すとアラーム音を試しに聞くことができます。

⑦アラーム時刻セットつまみ
アラームの時刻を合わせるときに使います。

⑧セットボタン（SET）
現在時刻を合わせるときに使います。

⑨リセットボタン（RESET）
電池交換後、必ず押します。
※ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

●針の見方

時　　　刻　10:08 35
アラーム時刻　 6:00
※本機は午前／午後の区別はありません。

電源について

●本機は 単３形アルカリ乾電池を２本使用します。
●電池はできるだけ“カシオ指定の電池”または同等品をご使用ください。
●本機を長期間ご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

お願い

機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

■ 電池交換のしかた（電池は全て交換してください）

(1) 電池ブタを開け、古い電池を取り出します（「●電池ブタの開け方」参照）。
(2) 新しい電池の ⊕⊖ を間違えないように入れ、完全に押し込みます。
(3) 電池交換後、リセットボタンを押します。
(4) 電池ブタを閉じます。

●電池ブタの開け方

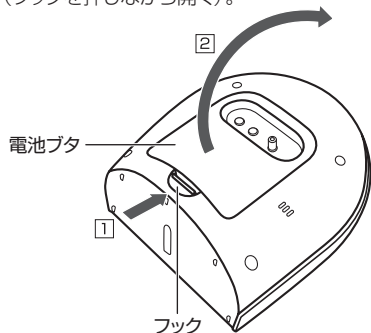
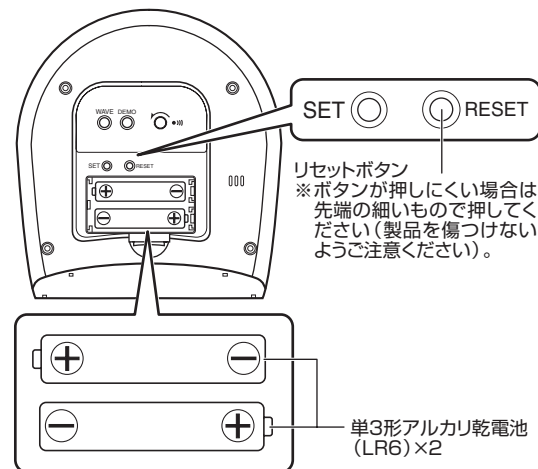
電池ブタを開けるときは下記のように開けてください。

1 電池ブタに指をかける（フックを押す）。
2 本体を押さえながら電池ブタを外側に開く（フックを押しながら開く）。

（裏面　電池ブタを開けたところ）

SET　RESET

リセットボタン
※ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

単3形アルカリ乾電池（LR6）×2

＜ご注意＞

●電池の ⊕⊖ の向きは正しく入れてください。
●電池が消耗しますと一般的に以下のようなことが起こります。
このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。
- 誤動作（時刻やアラーム等のリセット、報音の停止、時刻狂いなど）することがあります。
- 液晶表示は「薄くなったり」「消えたり」します。
- アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。

●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
●お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。
※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

本機の使い方

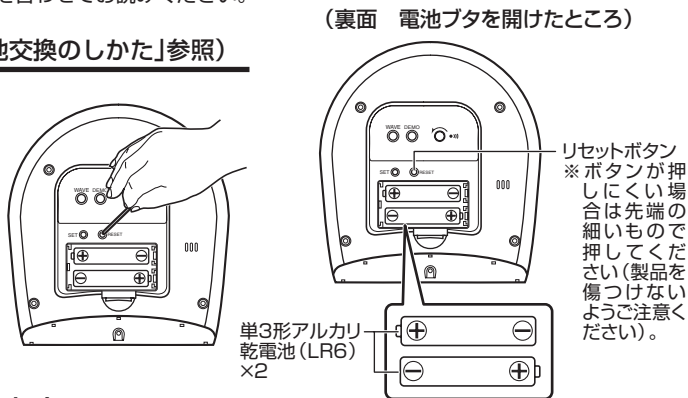
本機ご購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。
※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます（「■電池交換のしかた」参照）

本機裏面の電池ブタを開き、⊕ ⊖の向きに注意して、電池を正しく入れます。
➟電池を入れると同時に時・分・秒針が「12：00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。
※針は正転方向（進む方向）に進みます（逆方向には進みません）。
※電池を入れても針が動き出さないことがあります。この場合には、リセットボタンを押すと針が動き始めます。

（裏面　電池ブタを開けたところ）

リセットボタン
※ボタンが押しにくい場合は先端の細いもので押してください（製品を傷つけないようご注意ください）。

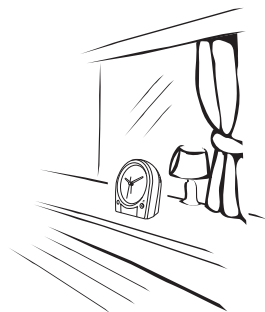
単3形アルカリ乾電池（LR6）×2

2 リセットボタンを押します（「リセット操作」）

本機裏面のリセットボタンを押します。
➟電池を入れた時と同様に時・分・秒針が「12：00 00」の位置に向けて自動的に動き始めます。
※電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。
※リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

3 本機を使用したい場所に置きます

時・分・秒針が「12：00 00」の位置で停止すると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないます。窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。
※受信中は受信ランプで受信状態をお知らせします（インジケーター機能）。

受信ランプのインジケーター機能

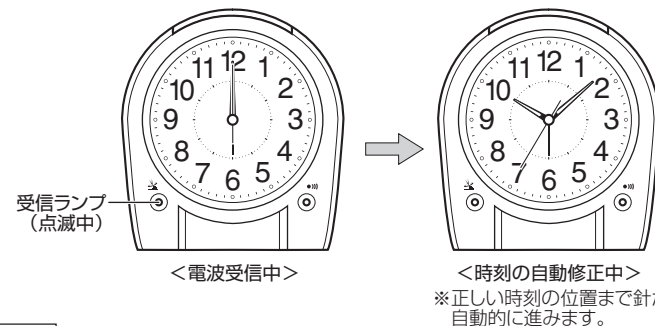
受信ランプの色（点滅表示）でお知らせします。 • 受信しやすい場合…緑色の点滅 • 受信しにくい場合…赤色の点滅
• インジケーター機能はアラームがオフのときに行なえます。 • 受信しやすい場所でも緑色の点滅になるまで5秒程度かかります。 • 天候、時間、環境等により電波の状態は変化します（赤色→緑色、緑色→赤色になることがあります）。 • 受信ランプは受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。

受信中は以下のように針が動作します。
- 電池交換時及びリセットボタンを押した場合
  ➟時・分・秒針は12：00 00で停止したまま受信を行ないます。
- 自動受信中の場合
  ➟時・分・秒針は運針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすくする為、多少ずらして運針します（1秒以内）。
- 手動受信中の場合
  ➟時・分・秒針は運針させたまま受信を行ないます。但し受信しやすくする為、多少ずらして運針します（1秒以内）。

受信終了後、各針は通常運針を行ないます。
※１回の受信は約2〜16分間です（リセット直後は、約4〜16分間です）。
※受信中にボタン操作を行なうと受信を中断しますので、受信中はボタン操作を行なわないでください。

➡ **受信成功**

正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。
- 針の時刻が1分前後進んでいた場合は、その間針は停止します。
- 時刻修正が完了するまで、最大3分程度かかります。
- 時刻の修正中は、手動受信は行なえません。

※受信成功後、テレビや電話サービス等の時刻と本機の表示する時刻を照合してください。

<電波受信中>　<時刻の自動修正中>
※正しい時刻の位置まで針が自動的に進みます。

➡ **受信できない** … 時刻修正は行ないません。

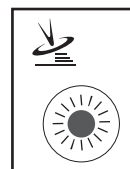
数分後に受信は止まります。
※このときは、本体の向きや置き場所を変えてウエイブボタンを押して、もう一度受信開始させてください。
※ウエイブボタンを押さなくても「2：01」になると再び自動受信を開始します。
　電波受信は午前2：01、午前3：01、午前6：01、午前10：01、午後2：01、午後6：01、午後10：01に行ないます。

●手動受信
ウエイブボタンを押すと、電波受信が開始され、受信ランプが点滅します。
※手動受信はアラームがオフのときに行なえます。
※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。
※電波受信が全くできない場合でも、月差±30秒の精度で計時します。

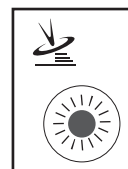
受信できない場合でも、翌日に電波受信に成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

4 1〜2週間電波受信の様子を見ます

本機は午前2：01、午前3：01、午前6：01、午前10：01、午後2：01、午後6：01、午後10：01（計7回／日）に受信を行ないます。現在置いている場所の受信しやすさは、スヌーズ／ライトボタンを押して確認することができます。
※インジケーター機能はアラームがオフのときに行なえます。

スヌーズ／ライトボタンを押したとき、受信ランプが緑色で点滅することが多い

電波受信は良好

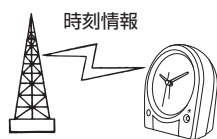
そのまま、その場所でお使いになれます。

スヌーズ／ライトボタンを押したとき、受信ランプが赤色で点滅することが多い

電波受信しづらい

その場所では電波受信しづらいので、置き場所を変えてください。
その場所で使用するときは、ときどき受信可能な別の場所で電波受信を行なってください。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報[日本標準時]をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

> 電波時計は正確な日本標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に１秒未満のズレが生じます。

●標準電波

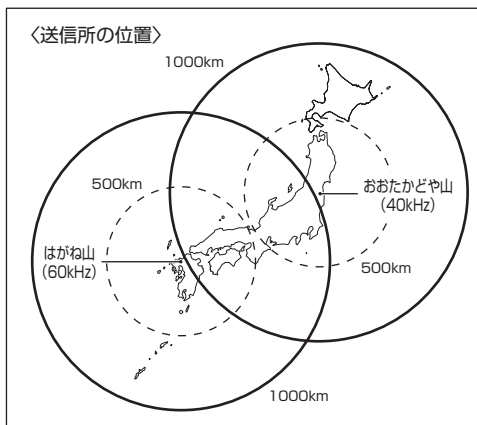
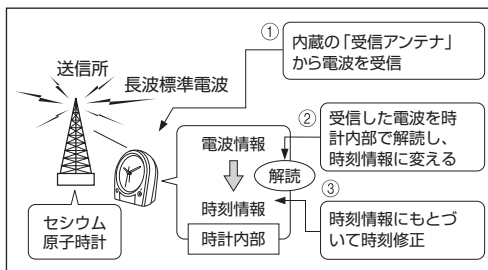
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」（60kHz）から送信されています。
この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることもあります。

●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼／夜）などによって受信できないことがあります。

※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

●受信のしくみ

●電波受信について

本機は「おおたかどや山標準電波送信所」（40kHz）と「はがね山標準電波送信所」（60kHz）の２局より受信しやすい方の電波を自動的に選択し受信を行ないます（自動選局機能）。通常は午前２：01、午前３：01、午前６：01、午前10：01、午後２：01、午後６：01、午後10：01に電波受信を自動的に行ないます（自動受信）。

※１回の受信は約２～16分間（リセット直後は約４～16分間）です。

※受信に成功すると、すぐに正しい時刻に修正されます。また、アラームがオフの時に、スヌーズ／ライトボタンを押すと受信ランプが緑色で点滅し、受信成功を確認できます。

受信ランプのインジケーター機能

※アラームがオフの時に、以下の確認が行なえます。

<受信中>
受信ランプの色（点滅表示）でお知らせします。

- 緑色の点滅…受信しやすい
- 赤色の点滅…受信しにくい

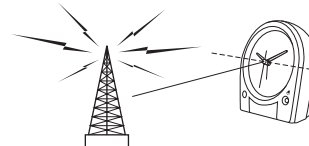
<受信終了後>
スヌーズ／ライトボタンを押すと受信の結果がわかります（３秒間）。

- 緑色の点滅…１日に１回以上受信に成功している
- 赤色の点滅…１日に１回も受信に成功していない

<正しく受信するために>

○電波受信できる場所でお使いください（「●使用場所について」参照）。

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります（本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにすると、最も受信しやすくなります）。

最も受信しやすい設置のしかた

○受信中（受信インジケーター機能中）に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。なお、受信中にウエイブボタンを押すと、受信を中断します。

<ご注意>

○セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間にウエイブボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

○電波受信を行なわない間は、月差±30秒以内の精度で計時します。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをおすすめします。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）
※但し、窓ぎわで使用すると受信しやすくなります。

高圧線、架線の近く

乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

家庭電化製品、ＯＡ機器のそば、金属板の上（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコン、携帯電話など）

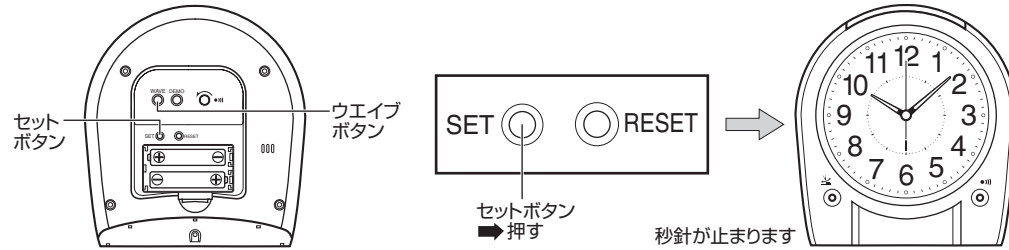
電波障害の起きるところ（工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど）

山の裏側…など

時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。
以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

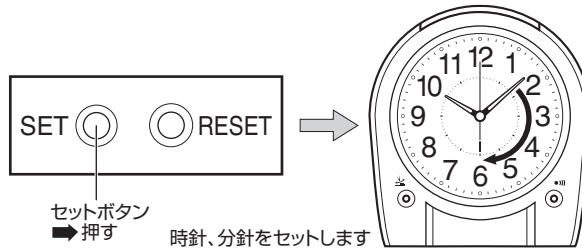
1 セットボタンを押す（セット状態へ切り替える）

本機裏面の電池ブタを開きます。
秒針が12時の位置に来たとき、セットボタンを押します。
秒針が停止し、セット状態になります。

2 セットボタンを押す（時刻のセット）

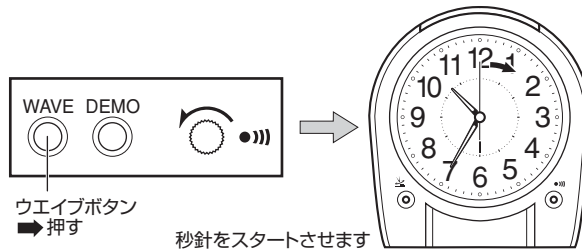
再度、セットボタンを押します。
分針が動き、時刻をセットすることができます（時針は分針に連動して動きます）。

1PUSH…1分進みます。

約2秒間押し続けます…分針の早送りを行ないます。

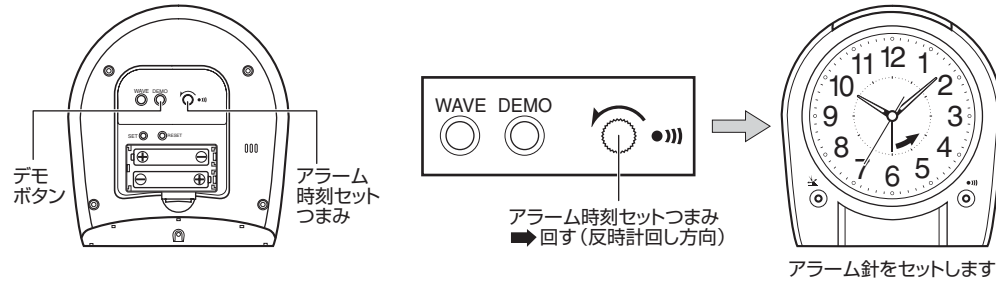
※時刻合わせは1分程度進めて合わせます（秒合わせが必要な為）。
※本機は午前／午後の区別はありません。

3 ウエイブボタンを押す（時刻のスタート）

テレビや電話サービス等の時刻に合わせ、ウエイブボタンを押します。
秒針が動き出し、セットは終了します。

※セット状態で何も操作をしないと、約3分後に自動的にセット状態を解除します。

アラームの使い方

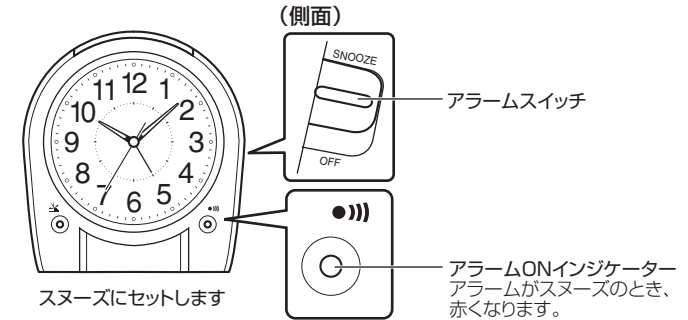
アラーム時刻をセットしておくと毎日同じ時刻にアラーム音が鳴ります。
本機のアラームは以下のような機能があります。
• スヌーズアラーム

1 アラーム時刻のセット

本機裏面のアラーム時刻セットつまみで、アラーム時刻を合わせます。
※アラーム針が反時計回りに回るように回します。
※本機は午前／午後の区別はありません。アラームをスヌーズのまま放置しますと、12時間後の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。

2 アラームのスヌーズ／オフ設定

アラームスイッチの位置でアラームのスヌーズ／オフが選べます。

SNOOZE (スヌーズ)	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴り、5分おきに7回報音を繰り返します。なお、スヌーズ／ライトボタンを押して音を止めても、再び鳴り出すスヌーズアラームです。
OFF(オフ)	アラーム時刻になってもアラーム音は鳴りません。

※アラーム音は１分間５段階でだんだん変化します。

●鳴っているアラーム音を止めるには

• 鳴っているアラーム音を止めるには、スヌーズ／ライトボタンを押します（スヌーズアラームなので再び鳴ります）。
• スヌーズアラーム機能を解除するには、アラームスイッチを“OFF”にします。

●デモアラーム

• デモボタンを押すと、アラーム音を試しに聞くことができます（1 分間）。
• デモボタンまたはスヌーズ／ライトボタンを押すと、アラーム音は止まります。

以下の機能はアラームスイッチに連動します。

●秒針停止機能

• お休みの間、秒針のコチコチ音を止めます。
アラームスイッチ SNOOZE(スヌーズ)…秒針が00秒の位置で止まります(時針、分針は通常通り動きます)。
アラームスイッチ OFF(オフ) ……………すぐに正しい時刻まで秒針が早送りされてから、通常通り動き始めます。